



令和2年 4月17日
学校 だより
苫小牧市立苫小牧東小学校 臨時 号

太陽の子



東小の教育目標

東小の子は太陽の子

- ・進んで学ぶ かがやく子
- ・思いやりのある
あたたかい子
- ・心身ともに健康な
明るい子

4月20日から5月6日までは臨時休校

新型 インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が出され、全道一斉に公立小中学校を休校措置とする旨の要請が、北海道教育委員会から示されました。要請等を受け、苫小牧市教育委員会が市内の全ての小中学校を一斉に休校とすることを決定したことにより、本校も4月20日から5月6日まで臨時休校となります。感染症の状況によっては期間延長になることもあります。

05月6日までの過ごし方について

1 新型コロナウイルス感染症への対応をお願いします

- ・朝晩の検温や風邪症状の確認
※登校時と同じように毎日、健康観察シートに朝晩の検温の結果を記入願います。
- ・手洗いや咳エチケットの徹底
- ・免疫力を高めるための十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事
- ・集団感染のリスクへの対応（不要不急の外出は避けてください。）

医療機関において新型コロナウイルスに感染していると診断された場合は、学校に連絡してください。

2 規則正しい生活をお願いします

- ・寝る時間、起きる時間の固定化
※長い休みの後、子供たちは少しずつ生活リズムを取り戻してきた頃です。学校があるときと同じような生活リズムをお願いします。
- ・学習に向かう時間の確保
※前年度までの復習を中心に家庭学習など行うようにしましょう。前の学年の問題を解いてみる、国語の教科書を読み返す、漢字の学習をする、都道府県を覚えるなど同じ学習をずっと行うのではなく、いくつかの学習を組み合わせながらやると集中力が続くのではないかと思います。
※2年生以上には「ほっかいどうチャレンジテスト」前年度サポート問題を渡しています。取り組んでみるよう担任から話をしています。（解答もつけています。）
- ・メディアに関するルール作り
※家にいる時間が増えますので、ゲーム、スマホ等のメディアにふれる時間が多くなってしまいがちです。やってよい時間、インターネット利用についてなどを子供と話し合い、家庭でのルールづくりをお願いします。

○今後の学校の対応について

1 5月7日について

- ・個人懇談を予定していましたが、行いません。**4時間授業ではなく、給食ありの5時間授業とします。**(変更になることも考えられます。)
- ・本日、各学級から通信が出され、4月20日以降の時間割が書かれていますが、明日からは休校です。今日配付するために前日準備したものですので、ご理解ください。5月7日の授業については、4月30日(配信予定)に学校メールにて連絡します。
※4月16日16時30分ごろにテストメールを出しています。届いていないと考えられる家庭へは本日、メール登録の用紙を改めて配付してしております。ご登録をお願いします。
※今後も学校メールを活用することが考えられます。

2 学校行事について

- ・個人懇談については、延期、中止の判断を含めて検討します。
- ・2計測・視力検査等の健康診断については、延期いたします。
- ・休業中に予定していた避難訓練や児童会任命式、1学期中に予定している遠足、運動会等の行事についても変更する場合がありますのでご理解ください。

5月7日以降の行事予定につきましては、学校が再開された時に配付いたします。

※苫小牧市教育委員会から出された「新型コロナウイルスに係る市内小中学校一斉休校についてのお知らせ」も確認ください。

家庭学習のヒント 低学年

一例です。長い休みとなり、学習習慣を継続していくためにご協力をお願いします。

- ・国語の教科書を音読(声をだすことが大切)
 - ・文字の練習、漢字の練習
 - ・算数の計算練習
 - ・日記
- など

低学年年はかかわりが大切です。

「音読をきいてあげる」「丁寧に文字を書いていたら〇をつけてあげる」「日記を書くときにどんな1日だったか話を聞いてあげる」など、学力を付けるではなく、学習の習慣作りをする時期です。

※1年生はまだ、宿題、家庭学習とも難しいです。生活のリズムを崩さず、学校への意欲を継続させてください。

中学年

- ・国語の教科書を音読
 - ・漢字の練習 ・言葉の意味調べ
 - ・算数の復習(前の学年で習ったことを)
 - ・日記 ・都道府県を覚える
 - ・1日の出来事を5・7・5で
- など

中学年は励ましとアドバイスが大切です。

「時々音読をきいてあげる」、同じことばかりになっていたら「明日は〇〇をやってみたら」、工夫が見られたら「今日は〇〇をがんばったね」など、意欲付けをしてあげ、毎日の学習習慣の確立と学び方が身に付くように。

高学年

- ・国語の教科書を音読
 - ・漢字の練習 ・言葉の意味調べ
 - ・算数の復習 ・実験のまとめをもう一度
 - ・社会で調べ学習
 - ・日記 ・1日の出来事を5・7・5で
- など

高学年は見取りとアドバイスが大切です。

家庭学習ノートを見て、どんな学習を子供がしているのかを見ることが大切です。学び方を身に付け、自ら管理できるようになっている子がいる一方で、同じ学習ばかりになっている子もいます。アドバイスをしながら自分のためになる学習習慣の確立を。